



CAD利用技術者試験
認定試験会場校

Microsoft

Office Specialist

Authorized Testing Center

試験実施会場校

ICCがわら版

いわきコンピュータ・カレッジ

No.32



発行者 いわきコンピュータ・カレッジ保護者会 会長 八巻 勝徳
〒971-8185 いわき市泉町四丁目13-12 Tel:0246-56-0711 Fax:0246-56-0751
URL <https://www.iwaki-cc.ac.jp> E-mail info@iwaki-cc.ac.jp

CG教育の充実

認定教育校



CG-ARTS協会
公益財団法人 情報教育振興協会

卒業を祝して

保護者会会長
八巻 勝徳



この度は、第32期生の皆様ご卒業、誠にありがとうございます。

また保護者の皆様には心よりお祝い申し上げますと共に校長先生をはじめ、ご指導にあたられました諸先生方ご支援、ご協力を賜りました関係各所の皆様には保護者を代表致しまして深く御礼申し上げます。

生活を一変させたコロナも五類に変わり、コロナ前の生活に戻りつつあります。振り返れば、今まで経験出来なかつたりモット授業等の実施、eスポーツ大会の実施など、インターネットを活用し、創意工夫することで楽しい学校生活



職業訓練法人
いわき情報処理開発財団
理事長 内田 広之
第32期卒業生の皆さん、おめでとうございませう。

そして、今日に至るまで、温かくその成長を見守ってこられた御家族の皆様、心よりお喜び申し上げます。また、熱心に御指導にあられた諸先生方、さらには、温かい御支援、御協力を賜りました関係者並びに地域の皆様に対しまして、深く感謝申し上げます。

さて、人口減少社会に対応するためには、若者や女性が活躍する「魅力的な働く場」を創出し、将来の活力となる若者や女性を市内に「とどめる」「呼び戻す」「呼び込む」必要があります。そのためにも、市内企業における働き方改革や、新しい事業・分野などに取組む業種転換が進むこと、新規

活が出来ました。今思えば良い経験だったと思います。

時事ネタではありませんが日経平均株価も36,000円超えと経済状況も回復してきております。卒業する皆様には追い風となる良い時期だと思います。

コンピュータ・カレッジで学んだ事はこれからの人生で役立つ知識だと思います。卒業生の皆様が学んだIoTの活用や、基礎的な4次産業に留まらず、今や6次・7次産業での活躍を期待しております。

若い皆様の新しいアイデアで地域活性化、雇用創出、地域振興を望んでおります。地域を担う貴重な人材である皆様が向上心をもって挑戦し、大いに活躍される事を期待しております。これからの活躍される事をお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

本校において、皆さんは、基礎的な知識の習得にとどまらず、ロボットやドローンなどの先端教材に触れ、また、会津大学と連携した授業などで、高度専門的、実践的なIT技術の学びも行ってきました。新型コロナウイルス感染症の5類移行後、校内活動や卒業研究にて、様々な方々と幅広いコミュニケーションの機会を増やしたことも、かけがえのない経験になったと思います。

地域を担う貴重な人材である皆さんが、失敗を恐れず自信と向上心を持って積極的に挑戦し、大いに活躍されることを期待しています。

皆さんの前途を心から祝福いたしますとともに、今後の御健勝と御精進を祈念いたしまして、卒業のはなむけの言葉といたします。

会津大学TA (ティーチングアシスタント)

特別講義をはじめ、昨年度から本格的にスタートした会津大学との連携。その連携の一環として、会津大学の取り組み「復興知」事業のTA (ティーチングアシスタント)として本校学生が協力しました。

「復興知」事業とは、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構の事業です。浜通り地域等での福島イノベーションの実現に向け、イノベーションを生み出す高度な人材の長期的な教育・育成の基盤を構築することを目的としています。

その「復興知」事業で、会津大学は浜通り地域等で高校生等を対象にロボットやICTに関する人材育成を行う一環として、Pythonプログラミングの演習をしていただきます。TAとは、受講する高校生にプログラミング



ングを教えるアシスタントです。本校2年生の菊田裕仁君、樋田樹太君、豊島怜勇君、西山太陽君が会津大生とともにTAを務めました。学生たちは率先して受講生に声掛けをし、質問には丁寧に対応するとともに、各受講生の理解度、到達度に合ったきめ細やかな指導を行っていたようです。

普段、教わる側の学生たちが教える側としてスキルアップできる貴重な時間でした。今後とも会津大学との連携を強めていきます。

卒業おめでとう

同窓会会長
斉藤 貴則



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。同窓会を代表

し、心からお祝いを申し上げます。二年間の勉学を遂げた今、晴れやかな希望に満ちていることでしょう。これから進む道は、それぞれに違いますが、将来の優れた社会人を目指して、一日一日を自分で決めた道をまっすぐに楽しく生きてください。

そこで、春から社会人となる皆さんにはぜひ考えていただきたいことがあります。それは、自分自身を「意思」「役割」「能力」の3

つの視点で、他者からどう評価されたいか。客観的視点から自分を分析することで、五年後のキャリアイメージプランを考えてほしいということ。まず「意思」について「自分がどうありたいか」「自分が目指している」などを考えて下さい。次に「役割」について「自分がやらなければならないこと」「他者から求められていること」などを考えて下さい。最後に「能力」について「役割を果たすために必要なこと」「意思を成しとげるために身につける力」などを考えて下さい。これらを考えることで、自分と社会(会社)の関わり方、夢を実現する強い意志を大切にすきつかけが、目標に向かって努力し続けることができているはず。それでは卒業生の皆さん「夢と希望に満ちた素晴らしい人生」になりますことを願っております。

交通安全のための「停止線」と「減速ハンプ」を設置



減速ハンプと停止線



停止線



減速ハンプ

一般道へ出るときに、歩行者にヒヤッとするような場面があったと思います。

これからは、減速して一旦停止、安全確認してから歩道を横切り一般道へ出る流れができ、交通安全に繋がると思っています。

最後に、これを設置していただきました保護者会に感謝申し上げます。



「はまスク☆浜通りスクールラジオ」に出演しました。

12月7日(木)、FMいわき様の番組「はまスク☆浜通りスクールラジオ」の取材で、収録にさせていただきました。スクールサポーター福島住みます芸人の「べんぎんナッツ」様に、本校2年生の卒業研究への取り組みなどをインタビュー形式で紹介していただき、学生たちも日ごろの自身の取り組みを披露できる貴重な機会となりました。収録は大いに盛り上がり、2週にわたって放送していただけることになりました。番組については、FMいわき様のHPでアーカイブ視聴することができます。是非お聴きください。

卒業生の皆さんへ

校長 田口周二



第32期の卒業生の皆様、卒業おめでとう御座います。この日が迎えられる事を心からお祝い申し上げます。そして、今日に至るまで、温かくその成長を見守ってこられました御家族の皆様、心よりお喜び申し上げます。私にとつても入学式から卒業まで2年間の学校生活を一緒に経験させてもらった初めての卒業生です。この2年間はどうかどうでしょうか？

まだコロナが盛んな2年前の入学式で話した言葉を覚えていますか？『失敗をしてくださいます』です。皆さんが、この言葉通り失敗を経験したかどうかは分かりませんが、しかし一か月前の卒業研究発表会、アリオスの舞台上で皆さんの堂々とした発表の姿を見た時、皆さんはこの2年間で確実に成長したと感じました。

この成長は、コロナの前・後に単に時間が流れただけではありせん。皆さんは、自分では自覚が少ないかもしれませんが、どこか

卒業生に贈る言葉



2年担任 鈴木 凌

卒業おめでとうございます。この2年間でみなさんには多くの頑張りを見せてもらいました。その頑張りや情報処理試験の合格者数やMOSマスターの認定者数、就職率といった数字へ明確に表れています。当然この数字以外にも、一人ひとりが自分の目標を持ち、それに向かって全力で取り組んだ姿を十分に見せてくれました。ただし、このいわきコンピュータ・カレッジで身に着けた能力を生かすためには、これからみなさんはさらなる頑張りや要求されることとなります。資格のため勉

で大きな変化にチャレンジし、それを乗り越えて進化したのだと感じました。

皆さんは人生の新しいステージに入つて行きます。その饒として私がいつも心掛けている言葉をここに贈ります。

『企業は潰れやすい。しかし、個人が潰れるわけにはゆかない。常に人は自らの売物を持つ』

皆さんの2年間の頑張り・成果は、この『自らの売物』です。これからは『変わる、変える』事を恐れず、自信をもって進んでください。

そして2年間一緒に勉強をしてきたクラスメイトと今後も『絆』を持ち続けてほしいと思います。きっとこれから人生のどこかで『よかった』と思える時があると感じています。

皆様の今後の更なる成長、活躍を期待しております。ご卒業本当におめでとう御座います。

そんな時は、学校で何度も行つた、プログラミングを思い出して下さい。最初から全て上手くいく必要なんてありません。まずやってみて、エラー箇所があつたら修正すればいいのです。そこからだんだんエラーなく書けるようになってきて、やがて効率の良い書き方にもたどり着けるはずですよ。プログラミングに限らず、資格試験や就職活動も同じでしたよね。最後にありますが、2年間お疲れ様でした。卒業おめでとう

卒業おめでとう



第32期生

卒業を迎えて



学生会長 豊島 怜勇

ITに強い興味を持ち入学した私は、その広い知識と世界に感動しました。すべてを網羅するなんてことはできませんでしたが、自分の輝ける分野を、楽しめる場所を見つけれました。加えて、私がここで得たことは単なる知識に留まらないのだと感じています。

今後は私の記憶に強く残るだろう経験が、学生会活動です。入学して間もなく、先生に勧められ、自ら副会長を名乗り出たことを覚えています。今まで、このような組織に所属した経験はありませんでしたが、やってみると思ったことがきつかけでした。勉強に加えて学生会活動、正直辛いと思つたことは何度もあります。それでも、私は頑張りたかった。やりた

りません。それでも、支えてくれる人がいて、認めてくれる人がいて、喜んでくれる人がいる。学生会活動を通じて知ったことです。知ることは、素晴らしいことです。事実、ここで得た最初の知識は、いかに私らしい座右の銘となり、悩んだ時の標になりました。『順次』と『選択』と『反復』これからもずっと大事にします。本校に入学し、卒業を迎えられることを、心から有難く思います。

卒業にあたり



2年 エニアクラス IT エクストラ 志賀 大輝

大学中退後、もともとITに興味を抱いていた私は、確実な学びを求め、いわきコンピュータ・カレッジに入学しました。しかし、最初の1年で病に悩まされてしまった。留年を余儀なくされました。その後も2回の手術を受けるなどして、3年かかるとなると卒業することができませんでした。この3年間の挑戦と成長から、勉強して知識を得るだけにとどまらず、新

しい友人との深い絆を築くことも、逆境に立ち向かう強さを養うことが出来ました。これまでの学びと経験を基に、社会での実践に意欲的に挑み、新たなステージで良いスタートを切りたいと考えています。

私は、いわきコンピュータ・カレッジに入学してから、絶えず意識していたことがあります。それは「とりあえず挑戦」ということです。「自分の学力的に絶対無理だからこの資格は取れない」ではなく「無理かもしれないけど頑張ってみようかな」という気持ちで、とりあえず挑戦する事を意識していました。

もちろん、取れなかった資格もありましたが、とりあえず挑戦することで、自分の成長具合を実感し、勉強方法を確認する事が出来るようになりました。

この「とりあえず挑戦」を意識して、卒業後は就職先で「自分には出来ない」と考えず、自分から率先して挑戦し、成果を上げる事を目標としています。



2年 ネスビス IT ビジネス 佐藤 蘭

あまり集まりませんでした。そこで在学生の参加者を募りました。8名参加してくれました。そこに職員も加わり懇親会は盛り上がりしました。来年度以降は、総会懇親会は5月に行い、それ以外に名刺交換会も開催し、同窓会を盛り上げていきたいと思ひます。

同窓会より

令和5年5月に新型コロナウィルスが第5類に移行した後も、収束せずに感染者が出ていた状況でした。そんな中、同窓会の役員たちは役員会を開き、名刺交換会の開催日や内容についてはどうするか、何回も話し合っていました。が、先に懇親会を開き、そこで名刺交換会を宣伝し、少しでも多くの人に名刺交換会集まってほしいと考えました。そのため例年より早い開催となり、12月16日(土)内郷クレーンコートで行われまし



同窓会役員名簿

- 会長 齊藤 貴則(2)再
- 副会長 鎌田 博希(2)再
- 副会長 大原 崇(3)再
- 副会長 熊谷 美沙(2)再
- 監事 我妻 直也(20)再
- 監事 蛭田 雄大(20)再
- 監事 吉田 健吾(22)再
- 三十二期生のクラス役員を紹介いたします。
- 豊島 怜勇
- 蛭田はづき
- 薬谷 心優
- 佐藤 蘭

新任職員紹介

事務部長兼 教務部長 磯井 友行



32期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。

ご挨拶が遅れましたが、私は昨年10月より木村修さんの後任として事務部長兼教務部長を担当しております。まだまだ不慣れな点が多く、皆様にご迷惑をおかけしなごらぬ毎日ですが、精一杯務めて参ります。

卒業生の皆さんとは、授業でお話しする機会はありませんでしたが、卒業研究やその発表会等を通して、真摯に課題と向き合い、仲間とのコミュニケーションを大事にする姿を目にしました。社会に出てからも、勇気を持って、勇気を出して一歩前に！前に前に！



助手 松岡 歩幹

「心にとりあえず挑戦」を意識して、卒業後は就職先で「自分には出来ない」と考えず、自分から率先して挑戦し、成果を上げる事を目標としています。

「心にとりあえず挑戦」を意識して、卒業後は就職先で「自分には出来ない」と考えず、自分から率先して挑戦し、成果を上げる事を目標としています。

「心にとりあえず挑戦」を意識して、卒業後は就職先で「自分には出来ない」と考えず、自分から率先して挑戦し、成果を上げる事を目標としています。

「心にとりあえず挑戦」を意識して、卒業後は就職先で「自分には出来ない」と考えず、自分から率先して挑戦し、成果を上げる事を目標としています。

教諭 堀内 和寛



教諭 堀内 和寛

は、福島市で出身です。出身は、福島市で出身です。出身は、福島市で出身です。出身は、福島市で出身です。

は、福島市で出身です。出身は、福島市で出身です。出身は、福島市で出身です。出身は、福島市で出身です。

就職状況

2024.2月末 現在

- (株)アウトソーシング
- (株)アムーブ
- ALSOK福島(株)
- アルプスアルパイン(株)
- (株)アルプスビジネスクリエーション
- (株)いわき電算
- (有)ABCいわき
- (株)エスユーエス
- (株)FSK
- (株)オープンアップシステム
- (株)共立ソリューションズ
- (株)協和マイクロ
- (株)江東微生物研究所
- サティス(株)
- CTCシステムマネジメント(株)
- (株)常興興産
- (株)スズキ自販福島
- ティ・エス・ネットワークス(株)
- 東京電力ホールディングス(株)
- 東京レコードマネジメント(株)
- 東洋システム(株)
- (株)勿来製作所
- (株)ニノテック
- パックス情報システム(株)
- (株)東日本技術研究所
- (株)東日本計算センター
- (株)平山
- (株)ForFields
- 富士テレコム(株)
- マグナ通信工業(株)
- (株)マルト
- (株)来希
- 陸上自衛隊
- (株)ル・プロジェ



五十音順

令和五年度 卒業研究発表会

2月2日、いわき芸術文化交流館アリオス小劇場にて令和5年度卒業研究発表会を開催しました。実際の発表会場とオンラインでのハイブリッド形式で、企業の方や保護者の方、約150名(過去最多)にご覧いただきました。会場が例年と違う発表会でしたが、学生たちは今までの成果を堂々と発表していました。

発表したのは、2年生12チーム(1Tエンジニアクラスが7チーム、2Tビジネススクラスが5チーム)。テーマは、初の試みである「Conic」から先輩の研究を引き継いだもので様々でした。また、生成AIを用いて開発の効率化を図るチームもありました。ご覧いただいた方からは「興味深い内容の研究が多く驚きました。」「素晴らしいアイデアばかり、そのレベルの高さに驚き感動しました。」「といった感想をいただきました。

全テーマ一覧

- いわき市魅力発信・活性化プロジェクト「あろは・ま・い・いわき」
- ICTのVulber 戦略
- 知名度向上の革命
- 植物育成支援アプリ「そだテル」
- TASOASをたすケル2
- ビジネス/テキスト相互変換プログラム
- LogRangung 支援ツール Conic の開発
- コンカレシミュレーション
- 実践パワフルプログラマー
- 出欠管理アプリ (Student Tracker)
- 小学生向け東日本大震災 Web サイトの制作
- ノベルゲームの制作「猫鬼」
- 水害に対応できる知識を身に付けるゲームの作成
- CCクリエイター検定試験合格チーム(CCS)
- 小名浜・常磐地区の観光地紹介 Web ページ作成



「Conic」の開発「優秀賞に「いわき市魅力発信・活性化プロジェクト」あろは・ま・い・いわき」と「植物育成支援アプリ「そだテル」が選ばれました。

卒業研究を終えて

2年 ITエンジニアクラス 奥村 明寧

私たちのチームは、ビジュアル/テキスト相互変換プログラム「Conic」の開発を行いました。

「Conic」は、文字列で記述されたテキストベースのプログラムを、初心者にとって理解しやすいビジュアルプログラムに変換するアプリケーションツールです。このツールを利用することで、文字列で記述されたコードを視覚的に表現することができ、プログラミングの学習を支援します。非常に難易度の高い研究内容でしたが、チーム全員が協力し合い、この成果物を作り上げることができました。そして、本発表では、自分たちが開発したツールの魅力を正確に伝えることができ、最優秀賞を受賞することができました。

今回開発した「Conic」を使うことで、本研究の目的である初心者から中級者までのユーザーがアルゴリズムを理解することが促進されることを期待しています。難易度の高い研究内容に挑戦したこと、新しい知識が多く身に付き、大変有意義な学習体験になったと感じています。

令和5年度 全国「コンピュータ・カレッジ」卒業研究発表会

昨年度からオンライン形式となった「全国コンピュータ・カレッジ卒業研究発表会」が2月19日に開催。

本校からは、「ビジュアル/テキスト相互変換プログラム」のチーム「Conicの開発」が2月



ムが代表として発表しました。以下、各校のテーマです。

「鬼剣舞をモデルにした3Dコンテンツ制作(北上コンピュータ・アカデミー)」、「Next Portal(あおもりコンピュータ・カレッジ)」、「初心者・ずばらん向け家計簿 Web アプリ(いさはやコンピュータ・カレッジ)」

情報処理技術者試験 「合格体験記」

応用情報技術者 基本情報技術者合格



2年 ITエンジニアクラス 加瀬 天音

私は情報処理技術者試験に合格するために、過去問と模擬試験を活用して学習に取り組みました。一問一答形式の午前問題の対策には、過去問を解説付きで掲載しているWebサイトを利用し、スマホで移動時間や待ち時間に少しずつ問題を解いていました。午後問

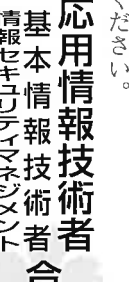
応用情報技術者 基本情報技術者合格



2年 ITエンジニアクラス 佐藤 竜哉

情報処理技術者試験の合格に向けて、私は学校の放課後や休日に行っていた問題をひたすら解いていきました。勉強を始めたころは、問題文の意味を理解するのに苦労し

応用情報技術者 基本情報技術者合格



2年 ITエンジニアクラス 原 愛美

私は入学前にITパスポートを取得していたため、当初は基本情

報技術者の取得を目標にしていたのですが、毎日1時間程度コツコツと勉強を進めていったことで、だんだんと問題をスムーズに解けるようになり、最終的には一回の挑戦で合格することができました。また、さらには上のランクの試験に挑戦したいと思い、情報処理安全確保支援士に挑戦しましたが、思っていた以上に問題が難しく、あまり良い点数が取れずに不合格になってしまいました。なので、次はすぐに情報処理安全確保支援士に挑戦せず、まずは自分に合った試験に合格してから、もう一度挑戦したいと思っています。これから試験に挑む人は、少しずつでもいいので今のうちにコツコツと勉強して、余裕を持って試験に挑むことができるように頑張ってください。

情報処理安全確保支援士は合格には至りませんでした。挑戦してよかったと感じています。重要なのは途中で諦めずにいる事です。勉強し続けること、試験会場へ足を運ぶこと、最後まで試験を続けることが合格への鍵だと思います。

学外研修(1年生) 常磐共同火力・日産自動車いわき工場見学

1年生の学外研修は、就職に対する意識付けを行うという目的で、地元企業を見学しました。場所は、常磐共同火力発電所と

日産自動車いわき工場。実際に仕事をしている様子を見学させていたいただいて、仕事への理解を深めるとともに、これから始まる就職活動についての意識を高めての意図を高めたいと考えています。公開されている資料や、面接の準備など、学生が出来ることをしっかりと行いましょう。

学外研修(2年生) CEATEC2023(2年生)

2年生の学外研修は、CEATEC2023。昨年度に引き続き、幕張メッセでの開催となりました。「SoftBank」の実現を目指すというテーマに基づいた、様々な会社・団体による新しい技術や、それを利用して見学することができました。2年生は、卒業研究中盤でしたが、良い刺激になったのではないかと思います。

学外研修(2年生) CEATEC2023(2年生)

2年生の学外研修は、CEATEC2023。昨年度に引き続き、幕張メッセでの開催となりました。「SoftBank」の実現を目指すというテーマに基づいた、様々な会社・団体による新しい技術や、それを利用して見学することができました。2年生は、卒業研究中盤でしたが、良い刺激になったのではないかと思います。

資格試験合格者

- ▶ 国家資験 応用情報技術者 3名 基本情報技術者 28名 合格
 - ▶ MOS2016 マスター 19名 取得
- 令和5年度 各種資格試験合格状況

試験名	区分	合格数	氏名
情報処理技術者試験 (国家試験)	応用情報技術者	3	加瀬 天音、佐藤 竜哉、原 愛美
	基本情報技術者	28	大熊 礼唯、奥村 明寧、小助川 健太、高木 和輝、高木 裕仁、小澤 亮太、小泉 和輝、柳井 近藤、小泉 和輝、柳井 近藤、小泉 和輝、柳井 近藤、小泉 和輝、柳井 近藤、小泉 和輝、柳井 近藤
情報検定 (J検)	1級	12	猪狩 近藤、石井 彪哉、奥村 明寧、柳井 近藤、佐藤 竜哉、柳井 近藤、佐藤 竜哉、柳井 近藤、佐藤 竜哉、柳井 近藤、佐藤 竜哉、柳井 近藤
	2級	20	酒井 岩谷、宏樹、坂本 美穂、武藤 竹内、山本 健太、山本 健太、山本 健太、山本 健太、山本 健太、山本 健太、山本 健太、山本 健太
	3級	57	小澤 亮太、本間 未桜、藤谷 心優
ビジネス能力検定 (B検)	2級	35	大熊 礼唯、同安 瑞歩、奥村 明寧、小助川 健太、小泉 和輝、小泉 和輝、小泉 和輝、小泉 和輝、小泉 和輝、小泉 和輝、小泉 和輝、小泉 和輝
	3級	41	奥村 明寧、加瀬 天音、菊田 裕仁、坂本 美穂、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉
CAD 利用技術者試験	2級	14	奥村 明寧、加瀬 天音、菊田 裕仁、坂本 美穂、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉
	基礎	38	加瀬 天音、坂本 美穂、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉
Microsoft Office Specialist (MOS) 2016	Access	39	加瀬 天音、坂本 美穂、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉
	Excel	41	加瀬 天音、坂本 美穂、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉
	Excel Expert	18	佐藤 竜哉、関 和香、柳井 近藤、中山 梨梨乃、長谷川 千愛、南航、内村 未桜
	PowerPoint	34	加瀬 天音、坂本 美穂、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉
	Word	44	加瀬 天音、坂本 美穂、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉、佐藤 竜哉
Word Expert	27	柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤	
	2級	1	柳井 近藤
ビジネス文書技能検定試験	2級	1	柳井 近藤
	3級	38	柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤
日商簿記	3級	1	柳井 近藤
	2級	9	大八木 啓介、佐藤 竜哉、関 和香、柳井 近藤、中山 梨梨乃、長谷川 千愛、南航、内村 未桜
パソコン検定試験 (P検)	2級	1	柳井 近藤
	準2級	1	柳井 近藤
	3級	5	柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤、柳井 近藤

タブレット贈呈式

平成27年度入学生から実施している本校の優遇制度の一つ「タブレット贈呈式」(今回で10回目)を行いました。対象者は、「AO入試」及び「特待生第一回入試」を受験し、来春入学する方18名でした。

この優遇制度は、事前学習・入学後の生活や学習などに役立ててもらうために実施しています。

タブレットを、残り的高校生活を有意義に過ごしていただくことを願っています。皆さんの入学を心待ちにしております！

受託コース開講

就職者等の再就職に向けた訓練です。6ヶ月間のCADオペレーター科のコースを受託しました。ワードや表計算等のOfficeソフトの基本操作を学び、また、製図等の基礎知識やCADシステムを学び、図面の描き方を身に付けま

保護者会より

令和5年度 活動報告

令和5年 5/16 火	令和5年度保護者会 総会及び令和5年度 第1回役員会
6/7 水	学生会主催スポーツ 大会
6/19 月	特別授業「話題の「生 成AI」を紹介」
9/22 金	学生会主催スポーツ 大会
10/23 月	特別授業(2年生) 「トイドローン」をプ ログラミングで操縦 (複数台のドローン 制御)
10/25 水	特別授業(1年生) 「トイドローン」をプ ログラミングで操 縦
令和5年 1/17 水	令和5年度第2回役 員会
2/2 金	卒業研究発表会
3/11 月	証書授与式
3/12 火	卒業式
4/10 水	入学式予定
4月	保護者会三役会
4月	会計監査
5月	第3回役員会

親から子へ
贈る言葉

保護者会 副会長
小助川 修



卒業おめでとうございます。2年間、いわきコンピュータ・カレッジで学んだことを生かして社会で活躍してください。あなたには高校生の時からスマートフォンを持たせましたが、今日では70代の人でも使いこなすようになっていきます。デバイスの普及と進化、それに伴うアプリケーショントの開発など社会では必要とされると思います。この様にあなたと取り巻く社会は、瞬く間に変化します。今までは、教科書があり、教えてくれる先生方がいましたが、今後は、自分で考え、社会を見直し、最適解を探すこととなります。見つからないときは、友達や恩師に相談すると良いでしょう。

4月より社会人となります。新型コロナウイルス、戦争など社会不安の多い時期に学生生活を送ることが、人生100年時代で活躍していくてくれるものと信じています。

保護者の役目

保護者会 副会長
長谷川久美

今年度はコロナが5類感染症になり、学校行事や授業もようやく普段通りに実施でき、少しずつですが、以前の日常生活に戻ってき

令和5年度 保護者会役員名簿

令和5年度の役員体制です。

- 顧問(校長) 田口 周二
会長 八巻 勝徳
副会長 小助川 修
副会長 長谷川久美
副会長(事務部長・教務部長) 磯井 友行
会長(事務主任) 杉山 広美
会 計(事務主任) 影山 佳子

- 庶務 東條留美子
庶務(教諭) 矢吹 能以
監事 小澤 晶子
監事 矢内 千織
評議員 原 恵美
評議員 宇佐美智子
評議員 小泉 伯明
評議員 芦澤久美子
評議員 川木 由美
評議員 山形 浩美
評議員 吉田 麻矢



学生会より

たように思います。昨年高校を卒業し、その後コンピュータ・カレッジに入学したと思つたら、早くも後1年間で卒業など多くの試験やテスト勉強や就職に向けて、更に必要な資格を取得しなければなりません。本格的な、就職活動も始まります。これまでも保護者として過保護にならない程度に、手助けはしてきたつもりです。本日は必要な時に、手を差し伸べるぐらいがいいのかもしれない。来年成人式を迎え、本当の意味で1人前の社会人になる為にも、本人の意思を尊重し、後悔しないよう見守っていきたいと思います。親として、これからは1番の理解者で応援団でいたいと思います。

令和5年度 学生会行事

- スポーツ大会 (6/7, 9/22)
- いわきおどり 小名浜大会 (8/4)
- パーベキューパーティー (8/9)
- いわき踊り泉大会参加 (10/14)
- クリスマスイルミネーションの飾り付け (12/1)
- スキー・スノーボード体験教室 (12/27 中止)
- 卒業旅行 (3/5)
- 謝恩会 (3/12)

令和5年度 学生会役員名簿

- 会長 豊島 怜勇(2年)
副会長 加瀬 天音(2年)
副会長 武藤 瑞季(1年)
書記 小助川健太(2年)
書記 山田佳奈美(1年)
書記 長谷川千愛(2年)
書記 佐久間菜々美(1年)
監事 脇坂 南帆(2年)
監事 齋藤 孝太(1年)

令和5年度温暖化防止にみんなで取り組む「福島議定書2023」事業



いわきコンピュータ・カレッジでは、福島県主催の「ふくしまゼロカーボン宣言」事業に参加し、2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、学生・教職員が一体となって温暖化対策の取組を推進しています。日々の呼びかけや注意喚起の掲示、学生会メンバーを中心とした見回りなど、節電や節水につながる活動を実施しました。



春と秋のスポーツ大会

6月7日(水)に平体育館にて春季スポーツ大会、9月22日(金)に勿来体育館にて秋季スポーツ大会をそれぞれ開催しました。バドミントンやバレーボールといった定番のスポーツや、ニュースポーツのポッチャなど、さまざまな競技を実施しました。いつもの授業とは違う環境で、学生たちの親睦を深める機会になりました。



クリスマスイルミネーション

12月1日(金)、クリスマスイルミネーションの飾り付けを行いました。昨年同様ツリーなどは勿論、エントランス部や学生ホール、外の植え込みも対象に、グレードアップした飾り付けを用意しました。1年生・2年生合同で協力して作業を実施し、校内外を鮮やかに照らしました。



高校教職員の皆様へのパソコン講座開催



2022年より新科目「情報I」が必修となり、共通テストにおいても2025年1月よりプログラミングを含む「情報」が新教科として出題されます。そこで、今年度は、昨年の「Python」の疑似言語に加え「情報I」の疑似言語にも触れた形で開催しました。市内高校からのご参加をいただき、Pythonを使った「変数」「分岐」・「繰り返し」・「配列」など基本操作をメインとした実習や共通テストを意識した模擬問題の解説を行いました。

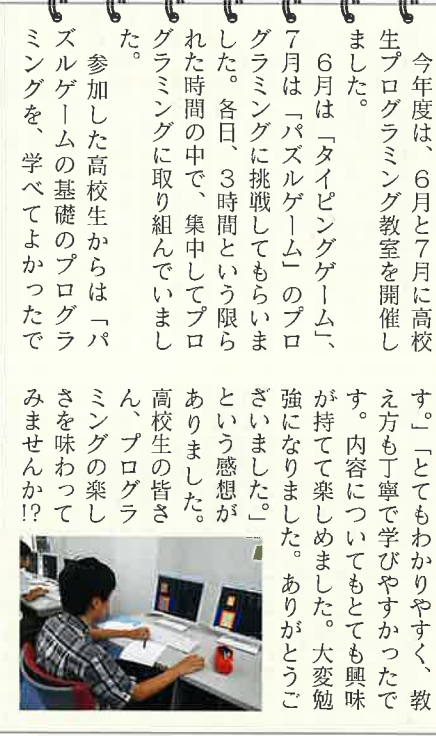


親子プログラミング教室「STEAM教育ロボットBotのプログラミングに挑戦！」を開催

コロナも第5類になりましたが、まだまだ人数制限をし、密にならないよう配慮して、市内の小中学生4~6年生とその保護者を含め12組で開催しました。昨年に引き続き、今年もSTEAM教育ロボットBotを使ってプログラミングを体験しました。昨年体験できなかったライントレースセンターを使ったプログラミングに挑戦しました。パソコンの専用ツールを使いプログラミング。USBケーブルを接続してBotへできたプログラムを転送。楽しそうに動作確認をしていました。親子の夏の思い出の一つになりました。

高校生向けプログラミング教室開催!

今年度は、6月と7月に高校生プログラミング教室を開催しました。6月は「タイピングゲーム」、7月は「パズルゲーム」のプログラミングに挑戦してもらいました。各日、3時間という限られた時間の中で、集中してプログラミングに取り組んでいただきました。参加した高校生からは「パズルゲームの基礎のプログラミングを、学べてよかったです。」ととてもわかりやすく、教え方も丁寧で学びやすかったと好評です。内容についてもとても興味を持って楽しめました。大変勉強になりました。ありがとうございました。



パソコン講座

受講状況と令和6年度の講座予定
今年度は、コロナが5類になり、あまり講座に影響が無く、予定通り9講座を開催できました。受講者数は延べ約100人でした。開催した講座の受講者のアンケートでは、「先生の教え方、スタッフの手助けが素晴らしいものでした。」「先生のサポート、学生のアドバイスもあり理解することができました。」など高評価をいただきました。次年度も様々な講座を開催いたしますので、ご利用ください!

- 【令和6年度パソコン講座予定】
パソコンビギナー講座
Word入門
Excel入門
PowerPoint入門
Jw_cadなど

※なお、企業や団体様の受託講座も行っておりますので、お気軽にお問合せください。

本科生・聴講生・科目履修生の募集について

■本科生(履修2年) 本科生とは、高校新卒者や既卒者、社会人の方が対象です。入試の区分は、特待生、指定校推薦・推薦・一般です。
■聴講生(1ヶ月) 本科生と一緒に履修年度の情報処理試験(国家試験)の基本情報技術者試験合格を目指すコースです。午前試験免除が受けられる「修了認定に係る試験」を七月に受験することができます。
■科目履修生(約4ヶ月) 本科生が学ぶ履修の授業の中から、希望の科目を選択して学ぶことができます。受講期間は、該当科目の開始から終了までです。ぜひ、お問い合わせください。

社会人経験者も歓迎!

編集後記

オープンキャンパスや学外展示など様々なイベントを開催することができ、多くの方に参加していただきました。皆さんありがとうございました。これからも多くの方に応援いただいた賜物です。来年度は文化祭等を予定しておりますので、かわりなくご支援を賜りますようお願いいたします。